

# 2018年度第2四半期 決算ハイライト

2018年11月13日

# 2018年度第2四半期決算の概要

【連結】

- 業務純益は、債券関係損益を主因に粗利益が減少したことに加え、経費が小幅に増加し、1,326億円減少
- 親会社株主中間純利益は、与信関係費用の改善に加え、モルガン・スタンレーの業績伸長等により238億円増益の6,507億円(年度初設定の通期業績目標比、進捗率76%)。通期業績目標を9,500億円に上方修正
- 1株当たり年間配当予想は22円に修正(増配)。総額1,000億円を上限とする自己株式取得を決議

## 1 連結業務粗利益

18,825億円

前年同期比 ▲1,255億円、▲6%

## 4 経費率

69.8%

前年同期比 +4.7%上昇

2020年度目標  
2017年度実績  
(68.0%)を下回る

## 2 連結業務純益

5,681億円

前年同期比 ▲1,326億円、▲19%

## 5 ROE(MUFG定義)

9.61%

前年同期比 ▲0.02%

2020年度目標  
7%~8%程度

## 3 親会社株主中間純利益

6,507億円

前年同期比 +238億円、+4%

通期業績目標  
8,500億円

9,500億円へ修正

## 6 普通株式等Tier1比率(規制最終化ベース\*)

11.8%

前年度末比 +0.1%

2020年度目標  
11%程度

## 7 株主還元

1株当たり年間配当予想 22円

前年度比 +3円

当初予想  
1株当たり20円  
2円増配

下期 自己株式取得 1,000億円

(上期 約500億円取得実施)

\*1 バーゼルⅢ規制見直しの最終化によるリスク・アセット増加影響を反映させた試算値

\* 本資料における計数・表記の定義は最終ページに掲載

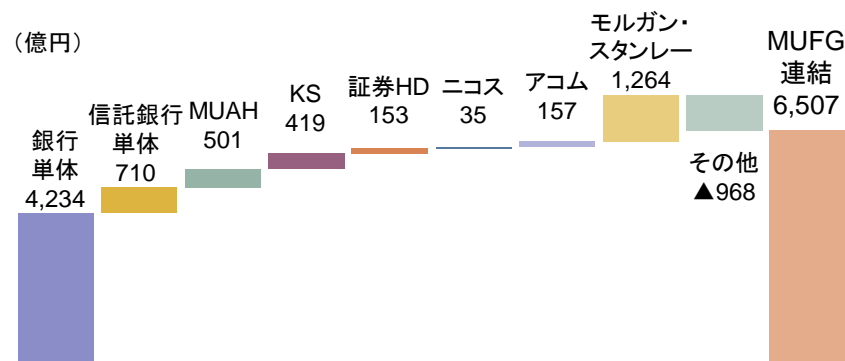
# 2018年度第2四半期決算の概要

【連結】

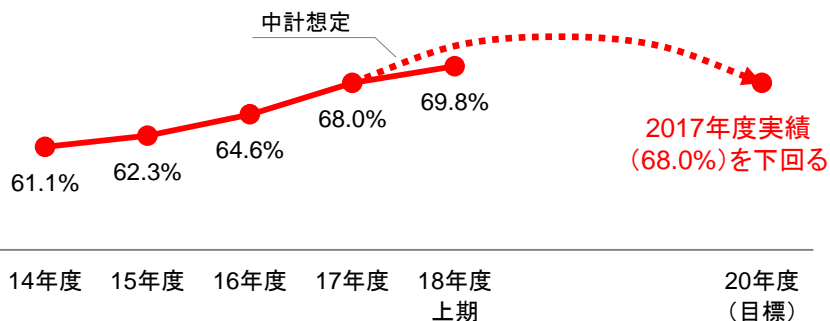
## ③⑥ 連結損益等概要(億円)

	17年上期	18年上期	増減
1 業務粗利益	20,081	18,825	▲ 1,255
2 営業費(▲)	13,073	13,144	71
3 業務純益	7,007	5,681	▲ 1,326
4 経費率	65.1%	69.8%	4.7%
5 経常利益	8,640	8,859	218
6 親会社株主中間純利益	6,269	6,507	238
7 1株当たり中間配当(円)	9.00	11.00	2.00
8 普通株式等Tier1比率(規制最終化ベース <sup>*1</sup> )		11.8%	

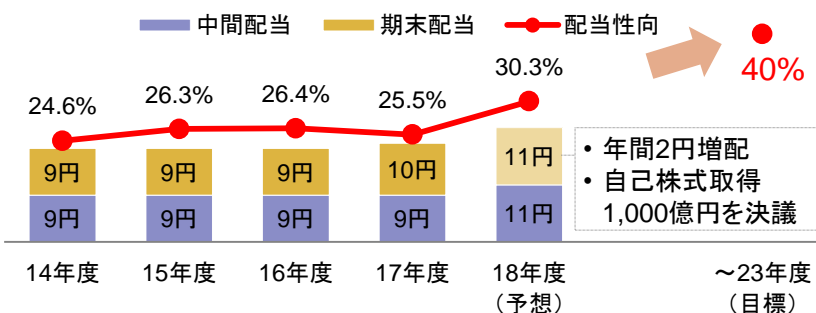
## <親会社株主中間純利益内訳<sup>\*2</sup>>



## ④ 経費率推移



## ⑦ 株主還元(配当性向)推移



## MUFG再創造イニシアティブの進捗

デジタルイノベーション戦略	チャネル戦略・BPR	グループ機能別再編	戦略出資
新決済プラットフォーム構築に向け Akamai社との協働スタート	「MUFG NEXT」1号店 オープン(2019年1月予定)	銀行・信託銀行法人貸出等業務 統合完了、RM-POモデル高度化	バンクダナモン株式の 追加取得実施
情報信託プラットフォームの 「DPRIME(仮称)」β版試行開始	三菱地所とグループ保有店舗不動産 のコンサルティング会社を設立	新事業本部体制の運営開始	豪州アセットマネジメント会社 CFSGAM <sup>*3</sup> の株式取得合意

\*1 バーゼルⅢ規制見直しの最終化によるリスク・アセット増加影響を反映させた試算値

\*2 持分比率勘案後の実績 \*3 Colonial First State Global Asset Managementグループの主要子会社の総称

## 連結P/L

(億円)	17年上期	18年上期	増減
1 業務粗利益(信託勘定償却前)	20,081	18,825	▲ 1,255
2 資金利益	9,736	9,702	▲ 33
3 信託報酬+役員取引等利益	6,959	6,967	8
4 特定取引利益+その他業務利益	3,385	2,155	▲ 1,230
5 うち国債等債券関係損益	847	▲ 16	▲ 863
6 営業費(▲)	13,073	13,144	71
7 業務純益	7,007	5,681	▲ 1,326
8 与信関係費用総額	31	1,179	1,148
9 株式等関係損益	550	851	301
10 株式等売却損益	561	866	305
11 株式等償却	▲ 10	▲ 14	▲ 3
12 持分法による投資損益	1,356	1,637	281
13 その他の臨時損益	▲ 305	▲ 491	▲ 185
14 経常利益	8,640	8,859	218
15 特別損益	43	▲ 171	▲ 215
16 法人税等合計	▲ 1,905	▲ 1,653	252
17 親会社株主中間純利益	6,269	6,507	238
18 1株当たり利益(円)	47.00	49.65	2.65

## 増減要因

### 業務粗利益

- 外貨預貸金収益が増加も、債券利息等の減少に加え、債券関係損益が減少し、業務粗利益は減少

### 営業費・経費率

- 営業費は、国内が減少した一方、海外での業容拡大や規制対応費用の増加により、小幅に増加
- 経費率は、業務粗利益の減少を主因に69.8%に上昇

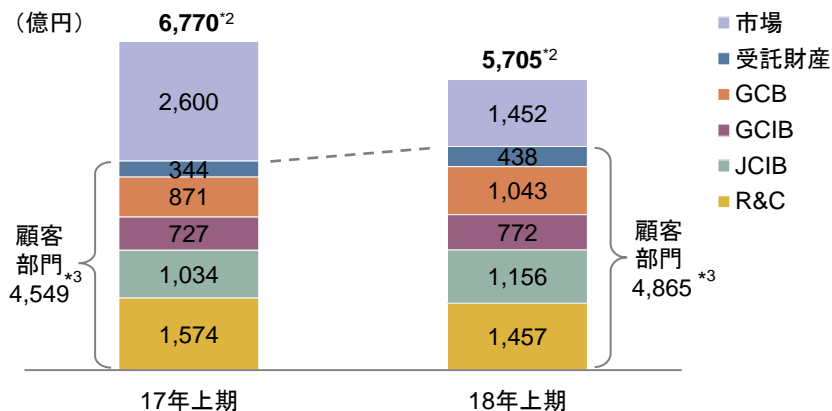
### 与信関係費用総額

- 1,179億円の戻入益を計上

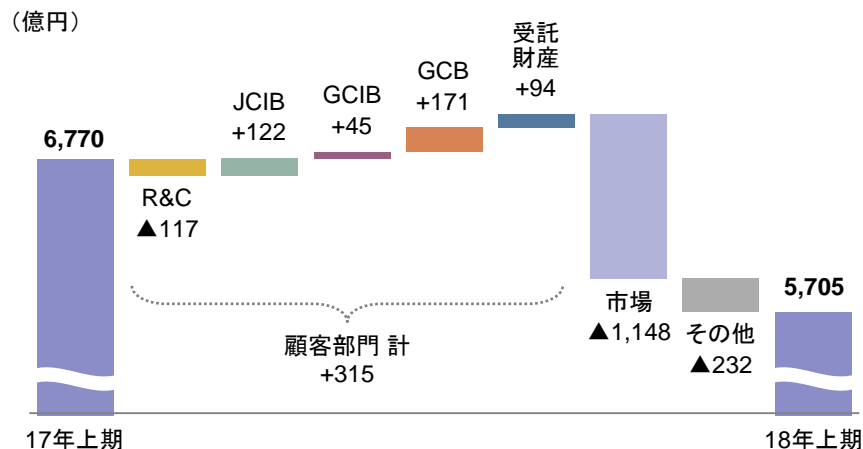
### 親会社株主中間純利益

- 株式等関係損益やモルガン・スタンレーの利益貢献の増加もあり、親会社株主中間純利益は238億円増益

## 事業本部別営業純益\*1



## 営業純益増減内訳



## 概要

### R&C

カード決済・CF\*4は業容拡大、米国金利上昇に伴い外貨預貸金収益が増加の一方、市況悪化に伴い運用ビジネスは苦戦

### JCIB

米国金利上昇に伴う外貨預貸金収益の増加に加え、証券のプライマリー業務の収益が増加

### GCIB

貸出積上げや米州・アジアオセアニアのイベントファイナンス成約等により増益

### GCB

米国金利上昇に伴い預貸金収益が増加、タイではオートローン等の貸出残高の積上げによる金利収益が増加

### 受託財産

国内外の資産管理残高、国内法人投資家向け運用商品販売積上げにより増益

### 市場

トレジャリー収益が減少、金利環境変化に応じたポートフォリオ運営を実施

\*1 社内管理上の連結業務純益 \*2 本部・その他(17年上期 ▲380、18年上期 ▲612)を含む

\*3 営業純益合計(\*2)に顧客部門営業純益の占める割合は17年上期で67%、18年上期で85%

海外対顧収益比率((GCIB+GCB)÷顧客部門営業純益)は17年上期で35%、18年上期で37%

\*4 コンシューマーファイナンス

## 連結B/S

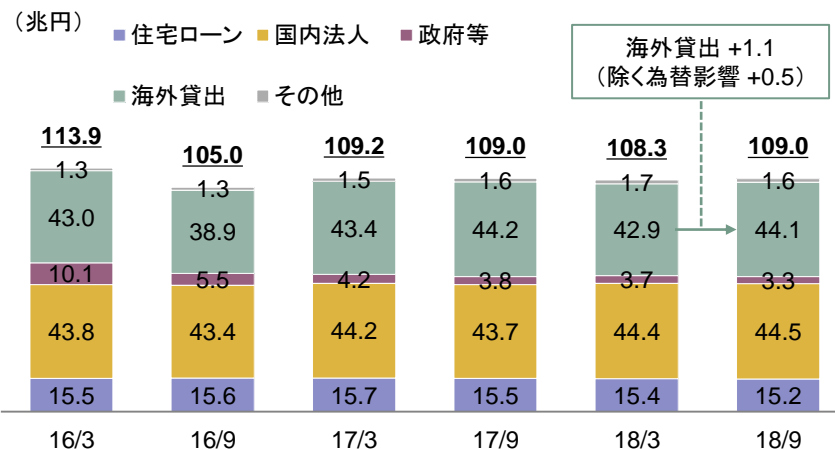
(億円)	18年9月末	18年3月末比
1 資産の部合計	3,063,876	▲5,497
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	1,090,117	6,139
3 貸出金(銀行勘定)	1,086,427	5,517
4 うち住宅ローン <sup>*1</sup>	152,254	▲2,285
5 うち国内法人貸出 <sup>*1*2</sup>	445,803	1,222
6 うち海外貸出 <sup>*3</sup>	441,165	11,671
7 有価証券(銀行勘定)	587,666	▲4,995
8 うち国内株式	66,116	2,331
9 うち国債	216,850	▲18,663
10 うち外国債券	182,238	▲3,454
11 負債の部合計	2,888,121	▲8,301
12 預金	1,759,797	▲13,325
13 うち個人預金(国内店) <sup>*4</sup>	760,870	7,844
14 うち法人等預金 <sup>*4</sup>	613,510	▲17,836
15 うち海外店その他子会社等預金 <sup>*3</sup>	385,417	▲3,333
16 純資産の部合計	175,754	2,803
17 金融再生法開示債権 <sup>*1</sup>	6,498	▲2,758
18 開示債権比率 <sup>*1</sup>	0.62%	▲0.26%
19 その他有価証券評価損益	35,655	480

\*1 2行合算+信託勘定 \*2 政府等向け貸出除く、外貨建貸出を含む(除く為替影響: 18年3月末比▲0.3兆円)

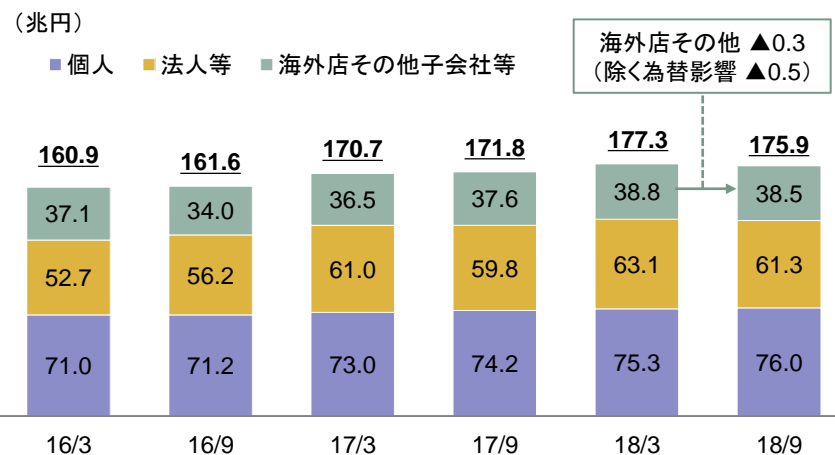
\*3 海外支店+MUAH+KS+MUFGバンク(中国)+MUFGバンク(マレーシア)+MUFGバンク(ヨーロッパ)

\*4 2行合算

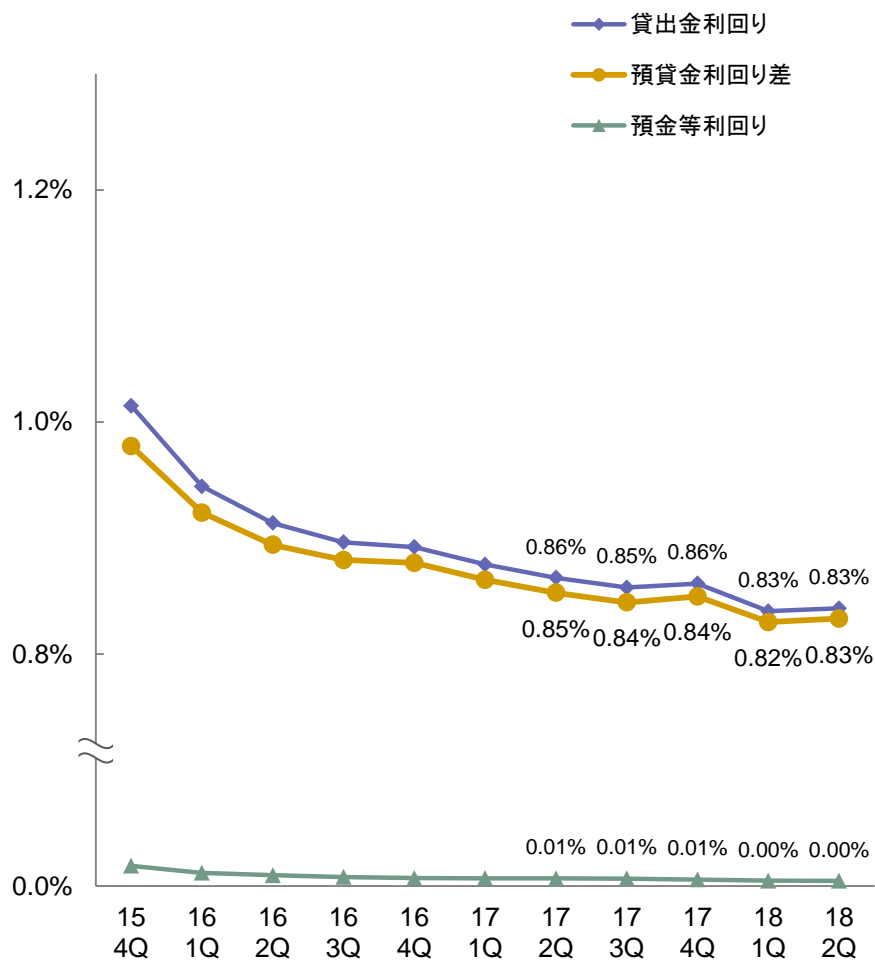
## 貸出金推移(末残)



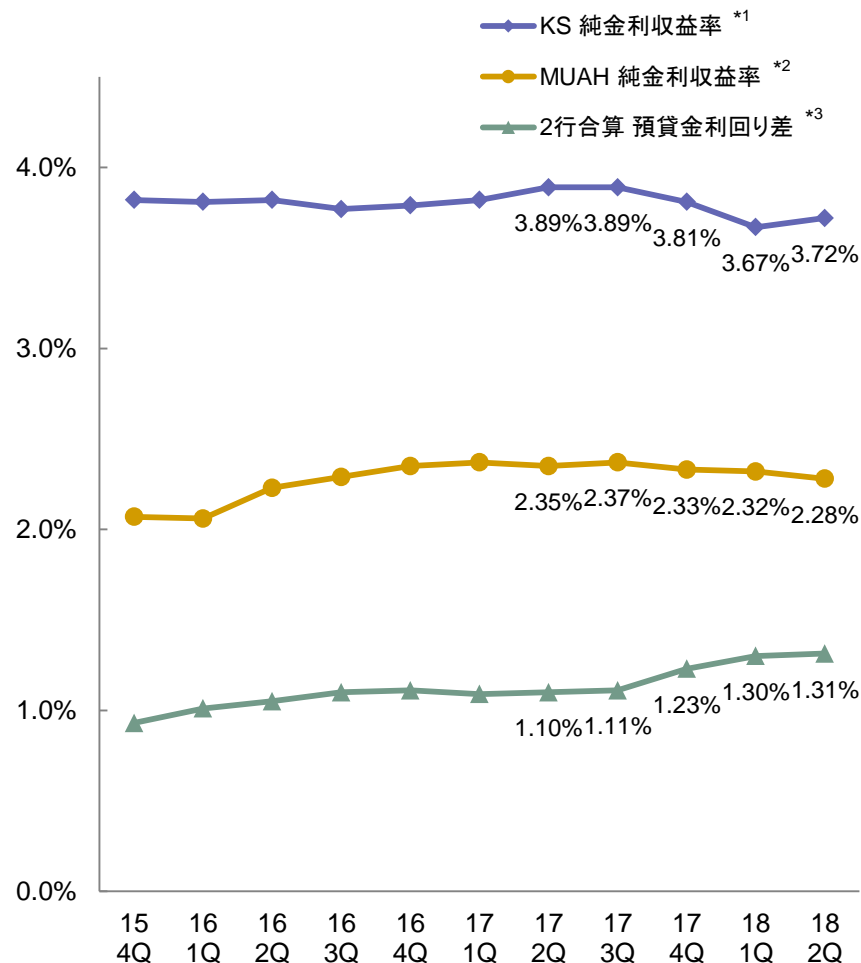
## 預金推移(末残)



## 国内預貸金利回りの推移(政府等向け貸出除き)



## 海外利回り等の推移



\*1 タイ会計基準に基づくKSの決算報告書における財務情報

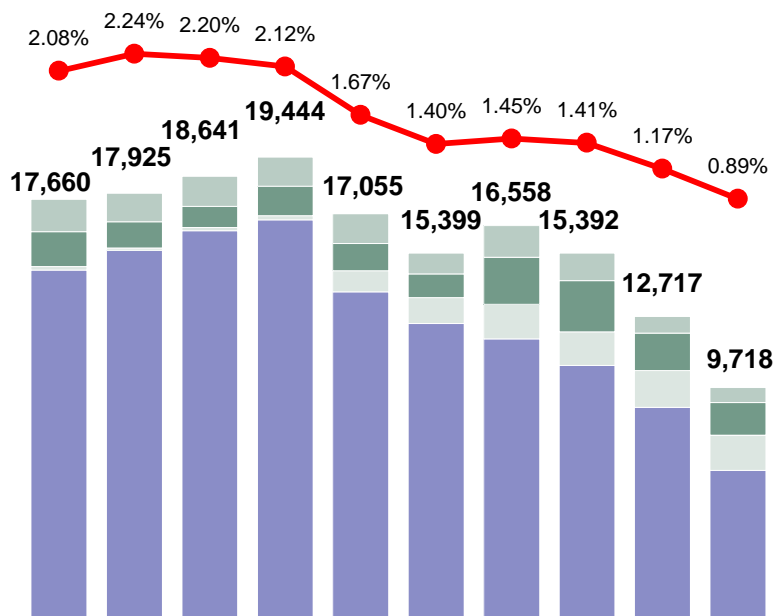
\*2 米国会計基準に基づくMUAHのForm 10-K・Form 10-Qにおける財務情報

\*3 社内管理上の計数

## リスク管理債権合計\*1

(億円)

● リスク管理債権比率 \*3

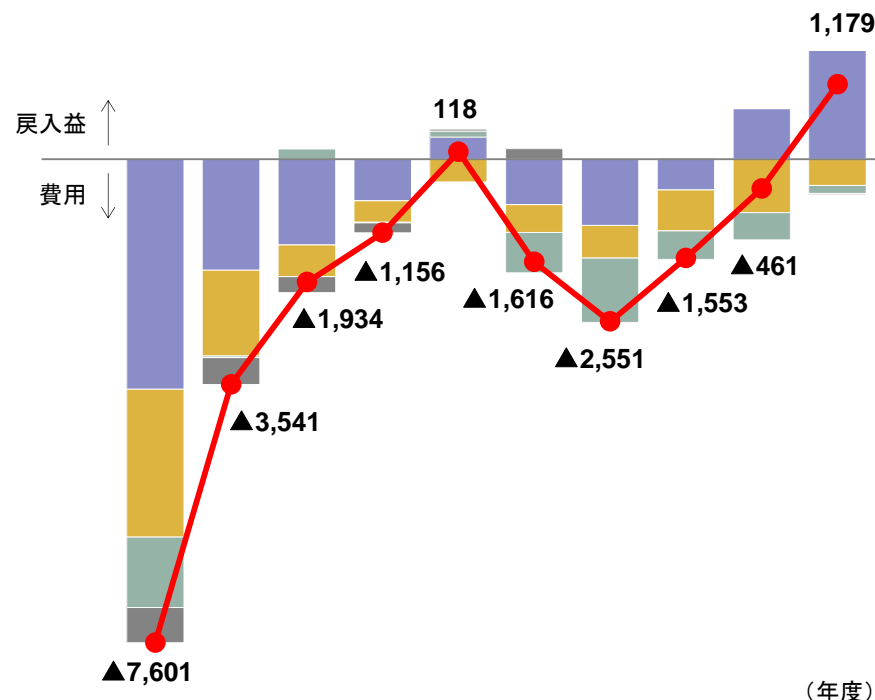


[内訳]

	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	18/9
EMEA <sup>*2</sup>	1,363	1,212	1,272	1,220	1,263	882	1,339	1,160	713	635
米州 <sup>*2</sup>	1,473	1,103	892	1,250	1,149	1,007	1,994	2,160	1,575	1,384
アジア	144	94	144	170	890	1,088	1,453	1,423	1,558	1,491
国内	14,679	15,515	16,332	16,803	13,752	12,420	11,771	10,647	8,870	6,205

## 与信関係費用総額

(億円)



[内訳]

	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18/上
2行合算	3,616	1,742	1,345	653	351	711	1,037	479	795	1,734
CF <sup>*4</sup>	2,322	1,350	501	337	357	441	516	645	836	411
海外 <sup>*5</sup>	1,106	27	161	8	92	632	1,008	450	427	123
その他 <sup>*6</sup>	557	421	249	156	32	169	10	21	8	20

\*1 銀行法に基づくリスク管理債権、地域は債務者の所在地による区分 \*2 EMEA(欧州、中近東他)、米州の12/3期以前は、その他、アメリカとして開示した計数を表示

\*3 リスク管理債権合計÷貸出金残高(銀行勘定、未残) \*4 ニコスとアコム連結ベース合算 \*5 銀行および信託銀行の海外連結子会社の合算

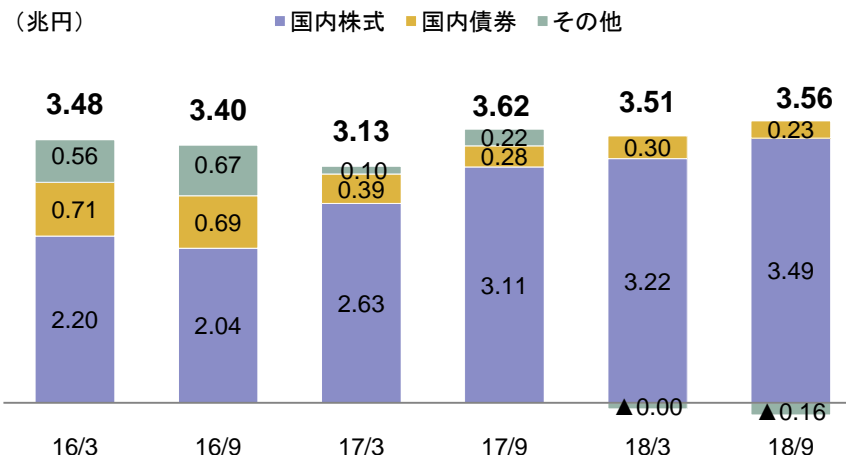
\*6 その他子会社および連結調整等



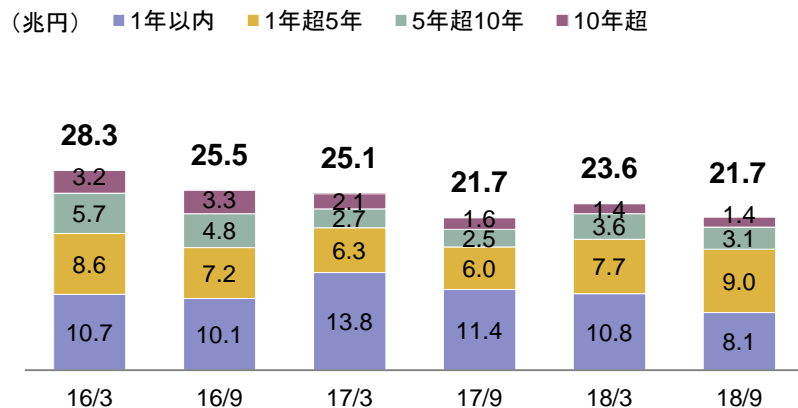
### その他有価証券(時価あり)の内訳

(億円)	18年9月末残高		評価損益	
		18/3末比		18/3末比
1 合計	544,729	▲9,244	35,655	480
2 国内株式	57,790	2,380	34,978	2,777
3 国内債券	255,078	▲14,727	2,303	▲751
4 うち国債	205,842	▲18,662	1,997	▲592
5 その他	231,859	3,103	▲1,627	▲1,544
6 うち外国株式	1,568	▲1,777	14	▲345
7 うち外国債券	170,035	▲4,448	▲2,757	▲1,366
8 その他	60,256	9,328	1,115	167

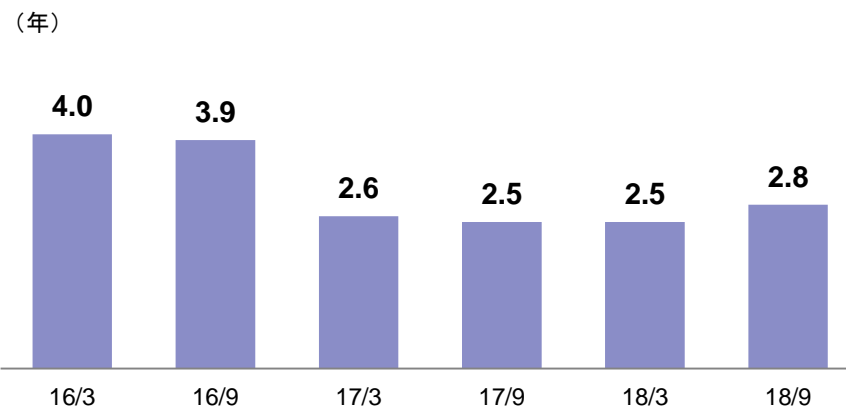
### その他有価証券評価損益の推移



### 国債の残存期間別残高(2行合算)\*1



### デュレーション(国債のみ・2行合算)\*2



\*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

\*2 その他有価証券

# 自己資本の状況

【連結】

## 自己資本額

- 利益剰余金増加および劣後債務の調達等により、総自己資本は2,157億円増加
- 普通株式等Tier1資本は1,612億円増加

## リスクアセット

- 信用リスクアセット：▲0.3兆円  
与信先の格上げ等を主因に減少
- フロア調整額<sup>\*1</sup>：+6.4兆円

## 普通株式等Tier1比率

- 完全実施ベース<sup>\*2</sup>：11.9%
- 同上(有価証券含み益除き)：9.7%
- 規制最終化ベース<sup>\*3</sup>：11.8%

## レバレッジ比率

- 段階実施ベース：5.05%

(億円)	18年3月末	18年9月末	18年 3月末比
1 普通株式等Tier1比率	12.58%	12.02%	▲0.56%
2 Tier1比率	14.32%	13.67%	▲0.64%
3 総自己資本比率	16.56%	15.82%	▲0.73%
4 普通株式等Tier1資本	142,849	144,461	1,612
5 うち利益剰余金	100,646	105,819	5,172
6 うちその他の包括利益累計額	31,438	29,454	▲1,983
7 うち調整項目の額(のれん等)	▲17,861	▲18,799	▲937
8 その他Tier1資本	19,668	19,809	141
9 うち優先出資証券・劣後債務	18,221	18,221	-
10 Tier1資本	162,517	164,270	1,753
11 Tier2資本	25,437	25,841	404
12 うち劣後債務	21,650	22,435	784
13 総自己資本 (Tier1+Tier2)	187,954	190,112	2,157
14 リスクアセット	1,134,636	1,201,271	66,635
15 信用リスク	898,231	894,722	▲3,509
16 マーケットリスク	27,145	32,018	4,873
17 オペレーショナルリスク	72,360	73,584	1,224
18 フロア調整	136,899	200,945	64,046

\*1 パーゼルⅠとパーゼルⅢの乖離による調整額

\*2 19年3月末に適用される規制に基づく試算値

\*3 パーゼルⅢ規制見直しの最終化によるリスク・アセット増加影響を反映させた試算値

# 2018年度業績目標

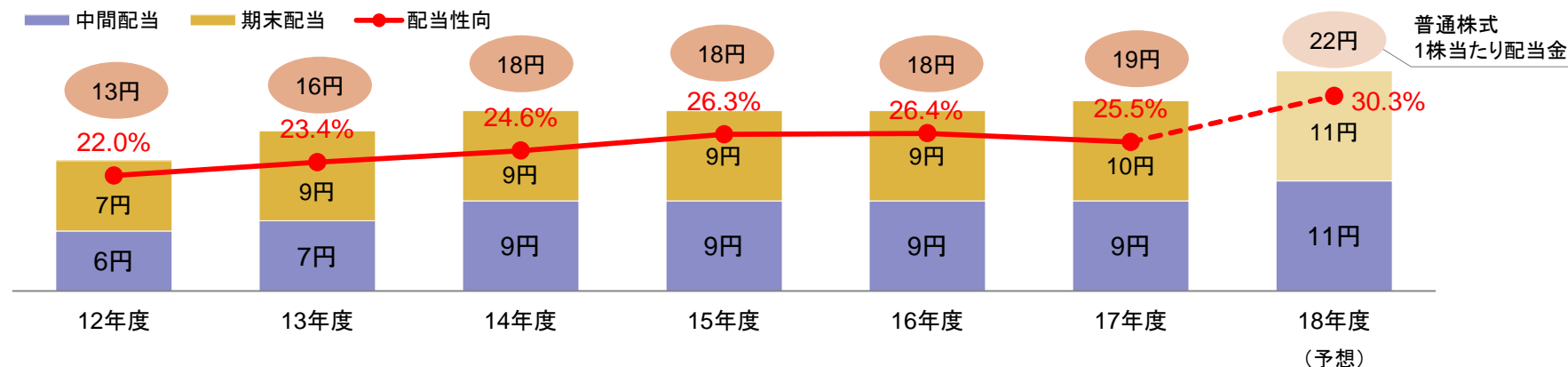
【連結】

- 2018年度の親会社株主純利益目標は年度初設定の8,500億円から9,500億円に上方修正

MUFG連結(億円)	実績			業績目標		
	17年度		18年度	18年度		
	中間期	通期	中間期	中間期	通期	年度初設定比
1 業務純益 一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前	7,007	12,328	5,681	5,000	10,500	100
2 与信関係費用総額	31	▲ 461	1,179	▲ 300	▲ 100	1,100
3 経常利益	8,640	14,624	8,859	6,300	13,500	1,200
4 親会社株主純利益	6,269	9,896	6,507	4,500	9,500	1,000

## 配当金予想

- 18年度の普通株式1株当たりの中間配当金は従来予想比1円増配の11円
- 年間配当予想は22円(従来予想比2円の増配)へ修正



## 自己株式取得および消却

- 18年度下期は、総額1,000億円を上限とする自己株式取得を決議。全株を消却する予定

	17年度	18年度上期	18年度下期
取得価額の総額	約2,000億円	約500億円	1,000億円 (上限)
取得した株式の総数	約2億6,881万株 全株消却済	約7,242万株 全株消却済	2億株 (上限) 全株消却予定

(参考) 2018年10月31日時点の自己株式の保有  
 発行済株式総数(自己株式を除く) : 13,119,338,443株  
 自己株式数 : 708,268,877株

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

## ＜本資料における計数・表記の定義＞

- 親会社株主中間純利益 : 親会社株主に帰属する中間純利益
- ROE (MUFG定義) : 
$$\frac{\text{親会社株主中間純利益} \times 2}{[(\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定})] \div 2} \times 100$$
- 与信関係費用総額 : 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益
- 連結 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
- 2行合算 : 三菱UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
- R&C : 法人・リテール事業本部
- JCIB : コーポレートバンキング事業本部
- GCIB : グローバルCIB事業本部
- GCB : グローバルコマーシャルバンキング事業本部
- 受託財産 : 受託財産事業本部
- 市場 : 市場事業本部
- 銀行 : 三菱UFJ銀行
- 信託銀行 : 三菱UFJ信託銀行
- 証券HD : 三菱UFJ証券ホールディングス
- ニコス : 三菱UFJニコス
- MUAH : 米州MUFGホールディングスコーポレーション
- KS : クルンシィ(アユタヤ銀行)